茨城県の経済動向〈茨城経済四期報　平成20年４～６月期〉

～本県の経済は，このところ弱含みとなっている～

この茨城経済四期報は，茨城県の経済活動の主要項目分野に着目し，これまでに県等で公表された当該分野の各主要経済指標の数値変動をもとに，本県における最近の経済状況をマクロ的視点から，限られた統計データ分析範囲の中で，概観的にまとめたものです。

概　況

本県経済は，このところ弱含みとなっている。

本県の最近の経済動向をみると，生産活動は緩やかに減少している。また，消費は一部に弱さが見られるものの前年水準を上回って推移している。住宅投資は低調であり，公共投資は前年水準を下回っているが，民間設備投資は，増加見込みを維持している。雇用・労働は，求人数の減少により弱い動きがみられる。景気ウォッチャー調査による景況感は，家計動向関連，企業関連，雇用関連がいずれも低下している。６月の景気動向指数（一致指数）は，景気が上昇・下降の境目である50%を４か月連続で下回っている。県民経済計算四半期速報による実質経済成長率（１－３月期）は，３四半期連続プラス成長となっている。

景　況　等

・景気ウォッチャー調査６月実施の現状判断DIは，前期（３月調査）比6.3ポイント低下の30.2となり景気の横ばいを表す50を４期連続で下回った。これは平成14年12月の調査開始以来最も低い値である。業種別にみると，家計動向関連，企業動向関連及び雇用関連の全てのＤＩが前期比で下回った。

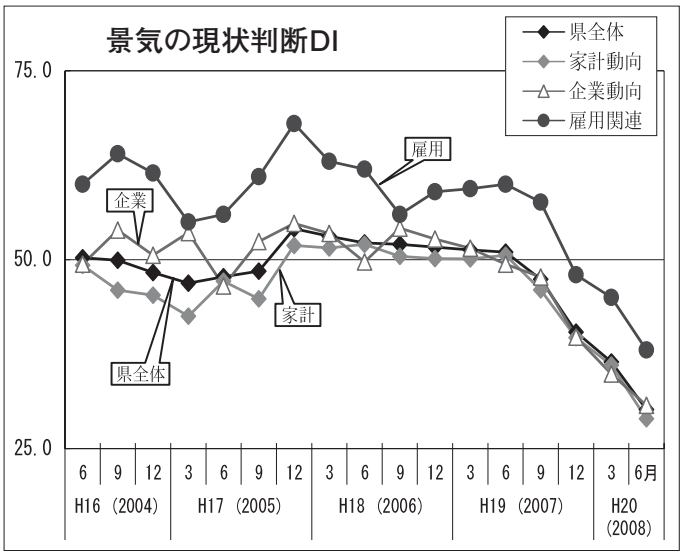
・景気動向指数６月の一致指数は28.6%となり，４か月連続で50%を下回った。
〈※国の景気動向指数６月の一致指数は30.0%と４か月連続で50%を下回った。〉

・県民経済計算四半期速報（平成20年１～３月期）の実質経済成長率は，前期比＋0.4%（年率換算＋1.8%）となり，３四半期連続プラス成長となっている。
〈※国の実質経済成長率（平成20年1～3月期）は，＋1.0%と３四半期連続プラス成長となっている。〉

景気の現状判断DI

年	月	県全体	家計動向	企業動向	雇用関連
H16 (2004)	6	50.3	49.3	49.4	60.0
	9	49.9	46.0	53.9	64.0
	12	48.3	45.3	50.6	61.5
H17 (2005)	3	46.9	42.5	53.6	55.0
	6	47.7	47.1	46.5	56.0
	9	48.5	44.8	52.4	61.0
	12	54.1	51.9	54.8	68.0
H18 (2006)	3	53.1	51.6	53.5	63.0
	6	52.2	52.0	49.7	62.0
	9	52.0	50.4	54.2	56.0
	12	51.7	50.1	52.7	59.0
H19 (2007)	3	51.3	50.1	51.5	59.4
	6	51.0	50.6	49.4	60.0
	9	47.4	46.0	47.7	57.6
	12	40.4	39.7	39.8	48.0
H20 (2008)	3	36.5	36.1	34.9	45.0
	6	30.2	28.9	30.7	38.0
前回調査比		▲6.3	▲7.2	▲4.2	▲7.0

資料出所：県統計課



■調査から

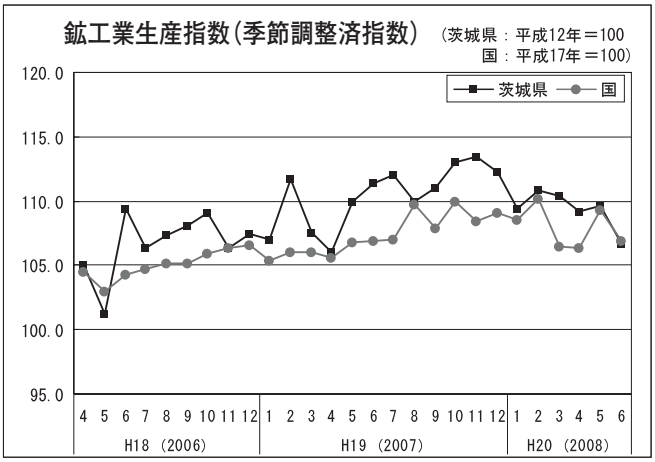
生産活動……緩やかに減少

・鉱工業生産指数６月（平成12年=100）は106.7（季調済）で前月比2.6％低下した。前年同月比（原指数）では4.2％低下となり，２か月連続で前年水準を下回った。四半期ベースで見ると４～６月期は，前年同期比（原指数）で0.6％低下し，平成17年10～12月期以来10期ぶりで前年水準を下回った。
〈※全国の鉱工業生産指数６月は106.9（平成17年=100，季調済）で前月比2.2％低下となった。原指数では前年同月比0.0％の横ばいとなっている。〉

・大口電力使用量６月は，前年同月比0.5％減と２か月連続で前年水準を下回った。製造業計では前年同月比0.4％増と２か月ぶりに前年水準を上回った。四半期ベースで見ると４～６月期は，前年同期比0.3％増で11期連続前年水準を上回った。

○茨城県鉱工業生産指数
（茨城県・平成12年＝100：国・平成17年＝100）

年	月	茨城県 季節調整済指数	茨城県 対前年同月比（原指数）（%）	茨城県 季調済指数（四半期）	国 季節調整済指数
H18（2006）	7	106.3	2.6	107.2	104.7
	8	107.3	4.0		105.1
	9	108.1	5.7		105.1
	10	109.1	6.6	107.6	105.9
	11	106.3	2.7		106.3
	12	107.5	3.6		106.6
H19（2007）	1	107.0	4.2	108.8	105.4
	2	111.7	4.8		106.0
	3	107.6	1.1		106.0
	4	106.0	−1.0	109.1	105.6
	5	110.0	11.3		106.8
	6	111.4	4.6		106.9
	7	112.0	6.9	111.0	107.0
	8	110.0	2.2		109.7
	9	111.0	−0.7		107.9
	10	113.0	3.4	112.9	110.0
	11	113.5	8.8		108.4
	12	112.3	2.5		109.1
H20（2008）	1	109.4	2.3	110.2	108.5
	2	110.8	2.9		110.2
	3	110.4	1.8		106.5
	4	109.2	3.8	108.5	106.3
	5	109.6	−1.1		109.3
	6	106.7	−4.2		106.9



資料出所：県統計課

消費……一部に弱さが見られるものの，前年水準を上回って推移

・大型小売店販売額６月は，前年同月比3.2％増と11か月連続で前年水準を上回った。内訳を見ると，百貨店販売額が２か月ぶりに前年水準を下回ったが，スーパー販売額は11か月連続で前年水準を上回った。既存店ベースで見ると，大型小売店販売額６月は，前年同月比3.0％減と３か月連続で前年水準を下回った。
〈※全国の大型小売店販売額６月は，前年同月比2.6％減と３か月連続で前年水準を下回った。〉

・自動車新規登録台数６月は11,278台で，前年同月比2.7%減と２か月連続で前年水準を下回った。貨物車・特殊車を除いた乗用車で見ると，普通乗用車（2000cc超）は，前年同月比5.4％増，軽乗用車は0.7％増とそれぞれ３か月連続で前年水準を上回ったが，小型乗用車（2000cc以下）は前年同月比7.4％減と２か月連続で下回っている。

・二人以上世帯の勤労者世帯消費支出６月（水戸市）は，前年同月比2.5％増と３か月連続で前年水準を上回った。四半期ベースで見ると４～６月期は，２期ぶりに前年水準を上回った。
〈※全国の勤労者消費支出６月は，前年同月比2.6％増と７か月連続で前年水準を上回った。〉

民間設備投資……全体としては増加見込み

・法人企業景気予測調査６月では，20年度上期の設備投資計画額は，全産業で前年同期比29.5％の増加見込みとなっている。20年度下期は，全産業で前年同期比7.8％の増加見込みとなっている。20年度通期は，全産業で前年比18.1％の増加見通しとなっている。

建設投資……住宅投資は低調，公共投資は前年水準を下回る

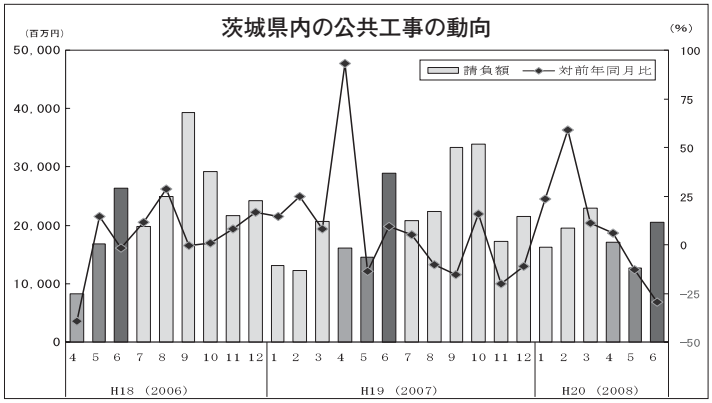
・新設住宅着工戸数６月は2,129戸・前年同月比24.0％減と５か月連続減となった。四半期ベースで見ると４～６月期は，４期連続前年同期比で下回っている。
〈※全国の新設住宅着工戸数６月は，前年同月比16.7％減と12か月連続で前年度水準を下回っている。〉

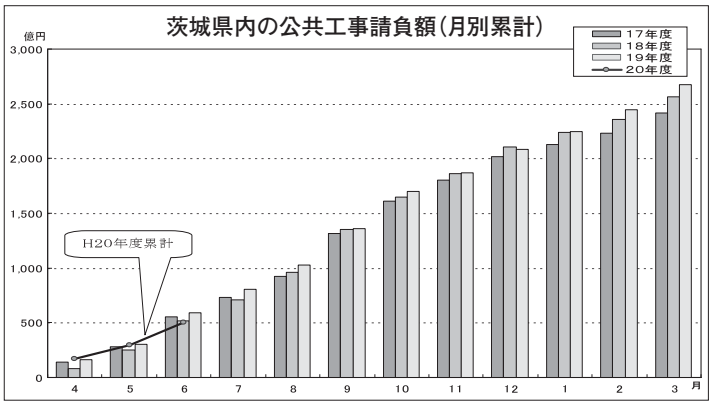
・公共工事請負額から公共投資の動向をみると，６月は前年同月比29.3%減と２か月連続で前年水準を下回り，四半期（４～６月）ベースで15.7％減と２期ぶりに前年水準を下回った。

○公共工事請負額

年	月	月計 件数	月計 金額（百万円）	対前年同月比（%）	対前年同期比（%）
H18（2006）	7	537	19,746	11.6	9.7
	8	521	24,964	28.8	
	9	1,078	39,262	－0.5	
	10	815	29,266	1.0	7.7
	11	677	21,588	8.3	
	12	799	24,217	16.6	
H19（2007）	1	490	13,170	14.4	14.0
	2	332	12,312	25.0	
	3	458	20,657	8.0	
	4	159	16,089	93.2	15.4
	5	260	14,461	－13.8	
	6	531	28,912	9.5	
	7	527	20,765	5.2	－9.0
	8	595	22,400	－10.3	
	9	879	33,290	－15.2	
	10	898	33,937	16.0	－3.1
	11	727	17,234	－20.2	
	12	783	21,558	－11.0	
H20（2008）	1	452	16,236	23.3	27.3
	2	358	19,567	58.9	
	3	456	22,911	10.9	
	4	218	17,066	6.1	－15.7
	5	215	12,621	－12.7	
	6	463	20,446	－29.3	

資料出所：東日本建設業保証株式会社茨城支店
「茨城県内の公共工事の動向」





雇用・労働……求人数の減少により弱い動き

・新規求人数６月は，前年同月比12.2％減と11か月連続で減少，新規求職者数６月は前年同月比1.6％増と２か月ぶりに増加となり，新規求人倍率（原数値）は1.11倍と２か月連続１倍超で推移している。

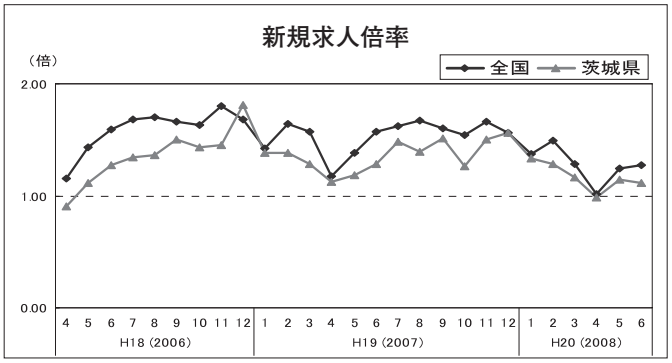
・雇用保険受給者実人員６月は9,645人で前年同月比2.2％減と68か月連続前年水準を下回っている。

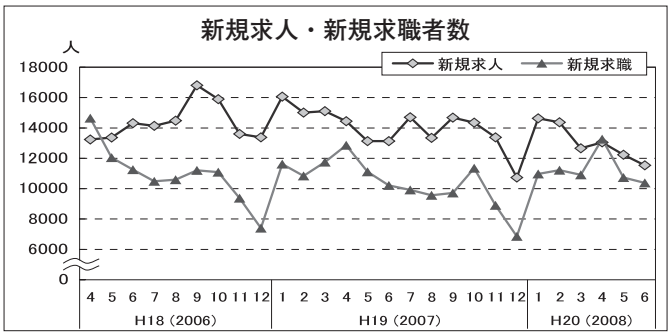
・常用労働者の現金給与総額（事業所規模30人以上）５月は，対前年同月比2.0％増と２か月ぶりで前年水準を上回った。きまって支給する給与（事業所規模30人以上）は，対前年同月比0.0％と横ばいとなっている。

○新規求人倍率（新規学卒を除きパートを含む）

年　月		新規求人倍率		茨　城　県	
		全　国	茨城県	新規求人数（人）	新規求職者（人）
H18（2006）	7	1.68	1.35	14,131	10,484
	8	1.70	1.37	14,477	10,590
	9	1.66	1.50	16,801	11,208
	10	1.63	1.43	15,893	11,085
	11	1.80	1.45	13,610	9,378
	12	1.68	1.81	13,377	7,405
H19（2007）	1	1.42	1.38	16,061	11,615
	2	1.64	1.38	15,008	10,838
	3	1.57	1.29	15,111	11,755
	4	1.17	1.12	14,449	12,858
	5	1.38	1.18	13,129	11,116
	6	1.57	1.29	13,138	10,214
	7	1.62	1.48	14,706	9,915
	8	1.67	1.39	13,342	9,569
	9	1.60	1.51	14,685	9,716
	10	1.54	1.26	14,350	11,352
	11	1.66	1.50	13,386	8,901
	12	1.56	1.57	10,734	6,855
H20（2008）	1	1.37	1.33	14,635	10,965
	2	1.49	1.28	14,374	11,219
	3	1.28	1.16	12,665	10,907
	4	1.01	0.98	13,054	13,262
	5	1.24	1.14	12,240	10,738
	6	1.27	1.11	11,533	10,382

資料出所：厚生労働省一般職業紹介状況「月報」及び
茨城労働局職業安定部「職業安定業務月報」





（注）新規求人倍率＝新規求人数÷新規求職者
新 規 求 人 数：その月に受け付けた求人数
新規求職者数：その月に受け付けた求職者数

前回（平成20年１～３月）の茨城県の経済動向概況
　本県経済は，このところ弱含みながら，緩やかな回復基調を続けている。

※　参考：最近の国内経済の動向
（内閣府「月例経済報告」平成20年８月７日）

総論（我が国経済の基調判断）
景気は，このところ弱含んでいる。

・輸出は，弱含んでいる。生産は，緩やかに減少している。
・企業収益は，減少している。設備投資は，おおむね横ばいとなっている。
・雇用情勢は，厳しさが残るなかで，このところ弱含んでいる。
・個人消費は，おおむね横ばいとなっている。

　先行きについては，当面，弱い動きが続くとみられる。なお，アメリカ経済や株式･為替市場，原油価格の動向等によっては，景気がさらに下振れするリスクが存在することに留意する必要がある。